

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東広島市			代表者名	東広島市長 ・ 垣 ・ 徳
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	経営戦略チーム（広報戦略担当）	連絡先電話番号	082-420-0919
担当者役職	主任	担当者氏名	北崎 晴子	連絡先E-mail	
住所	739-8601 広島県東広島市西条栄町8番29号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	広島県都市広報職員事務研修会
概要	広島県内市町の広報職員が毎年合同で実施する広島県都市広報職員事務研修会において、戦略広報に関する研修の支援を受けるもの。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） ICT活用広報		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月13日	支援・助言&講演(実地)	12時30分	17時30分	
				活動時間（分）	300
2-2. 派遣場所	会場名	東広島市役所		最寄駅	JR山陽本線西条駅
	所在地	東広島市西条栄町8番29号		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・申請目的や受講対象者に合った研修内容であり、参加者の理解が深まった。 ・グループワークを中心とした講義であり、各グループの課題や進捗に応じて助言をいただくことができた。また、アドバイザーの講義内容を具体化することができ、実務に生かしやすい構成であった。 ・ターゲットを絞り効果的な広報媒体と時期等を選定し発信することが、市政への理解・参画促進だけではなく、仕事の効率化につながるという視点も得られて良かった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	30人
	属性 自治体職員 住民 企業・団体	その他(学生など)	
人数 30			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	地域の活性化には市民や企業等の市政への理解や参画が不可欠であり、それらを促進するための広報を効果的に実施するには、職員1人1人が広報の重要性を理解し、それを意識した情報発信につなげていく必要がある。そのためには、広報職員が中心となり職員全体の意識醸成を図る必要がある。		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	広島県市町の広報職員が広報の重要性や各メディアの特徴、ターゲット層の関心・興味を惹起し行動変容に結びつける戦略的な情報発信の仕方を理解する。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・市民や企業の市政への理解や参画に結び付けるため、SNS等、様々なメディアを活用した戦略的な広報の組み立て方についてご教授いただいた。 ・講義だけでなく、グループワークを通じた実践型の研修を受けた。講師の助言を受けながら、ターゲットの行動を意識して媒体や時期などを選択し、広報の戦略を立てた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・様々なメディアを活用した戦略的な広報の重要性や組み立て方を理解し、身に付けることができた。 ・戦略を具体的に組み立てる際など、ワーク中に不明点を都度講師に質問でき、納得しながら技術を身に付けることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた 研修による広報職員の意識や技術の向上
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 回答者19人全員が、研修会を通じて、「戦略的な広報の仕方に関する理解が深まった」「戦略的な広報の仕方を意識して今後の業務に取り組みもうと思った」「各自治体の職員にも戦略的な広報の重要性や組み立て方を周知したい」と回答した。難易度はやや高めの評価ではあったが、アドバイザーの助言を受けながらの実践型の研修を行うことで、理解が深まったと考えられる。 (別紙1・2) アンケート結果参照	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 広島県各市町の広報職員が、各自治体において職員一人一人へ広報の重要性や組み立て方を浸透させ、効果的な情報発信を促す。
4－4. 事業の最終的な目指す姿	今回の研修で得られた知識・スキルを庁内職員にも伝達し、職員1人1人の広報技術が向上することにより、市民等にまちの魅力が伝わり、まちへ参画する人が増えることで、最終的には地域内の経済循環や関係人口の増等による地域活性化、市民自身のWell-beingの向上につなげる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

